

藤沢市教育委員会定例会（9月）会議録

日 時 2006年9月2日（土）午後2時

場 所 東館2階教育委員会会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の決定

3 前回会議録の確認

4 議 事

(1) 議案第19号 藤沢市民ギャラリー運営協議会委員の委嘱について

5 その他

(1) インターネット予約資料の市民図書室受取について

(2) 4市民図書館資料の市民図書室返却について

(3) 有料配達便の実施について

(4) 「第20回ビーチバレージャパン&テレビ東京マーメイドカップ」開催結果について

(5) 「ビーチバレージャパン20回記念事業」開催結果について

(6) 「湘南オープンウォータースイミング2006」開催結果について

6 閉 会

出席委員

1 番 小 野 晴 弘
2 番 數 野 隆 人
3 番 開 沼 佳 子
4 番 平 岡 法 子
5 番 川 島 一 明

出席事務局職員

教育総務部長	落 合 英 雄	生涯学習部長	高 木 三 広
教育総務部参事	小 島 隆	生涯学習部担当部長	浅 木 良 一
教育総務部参事	城 田 修 治	生涯学習部参事	渡 邊 忠 雄
教育総務部参事	飯 島 広 美	生涯学習部参事	植 木 正 敏
生涯学習部参事	武 清	生涯学習部参事	熊 谷 正 明
学務課長	田 中 一 次	保健給食課長	廣 野 賢 二
書 記	上 野 進	書 記	松 森 裕 二

午後2時00分 開会

川島委員長

ただいまから藤沢市教育委員会9月定例会を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長

最初に、議事録署名委員の決定をしたいと思います。2番・數野委員、3番・開沼委員にお願いしたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

川島委員長

それでは本日の会議録に署名します委員は、2番・數野委員、3番・開沼委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長

次に、前回会議録の確認ですが、何かありますか。

特にないようですので、このとおりに承することいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長

次に、議事に入ります。

議案第19号藤沢市民ギャラリー運営協議会委員の委嘱についてを上程いたします。事務局の説明をお願いいたします。

浅木生涯学習部担当部長

議案第19号藤沢市民ギャラリー運営協議会委員の委嘱についてご説明いたします。この議案を提出いたしましたのは、藤沢市民ギャラリー運営協議会委員が2006年9月30日をもって任期満了となることに伴い、藤沢市民ギャラリー条例第10条第3項の規定により委嘱する必要によるものです。

氏名等につきましては、記載のとおりでございます。よろしくご決定いただきますようお願いいたします。

川島委員長

事務局の説明が終わりました。議案第19号についてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

川島委員長

それでは、議案第19号藤沢市民ギャラリー運営協議会委員の委嘱については、原案どおり決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長

その他に入ります。

(1)インターネット予約資料の市民図書室受取について、(2)4市民図書館資料の市民図書室返却について、(3)有料配達便の実施について、以上3件を一括して事務局の説明をお願いいたします。

武生涯学習部参事

この3件は、図書館における事務改善あるいは市民へのサービス拡大といった内容のものです。まず(1)インターネット予約資料の市民図書室受取については、昨年7月からインターネットによる予約サービスを開始

いたしました。インターネット予約の受取は総合市民図書館、南市民図書館、辻堂市民図書館、湘南大庭市民図書館の4館だけでしたが、これを市民の身近なところで提供したいということから、市内11カ所の市民図書室まで拡大するというものです。

市民図書室の蔵書は約2万冊ですが、インターネット予約によって市民図書室でも4市民図書館の全蔵書(約130万冊)が受取れることができるということで、広いサービスが享受できるという内容です。効果としては、何よりも身近なところでインターネットの予約サービスが受けられるということです。

次の(2)4市民図書館資料の市民図書室返却については、今まで4市民図書館で借りていた資料は、あくまでも4館に返し、市民図書室に返却することができなかったのを、市内11カ所の市民図書室へ返却できるようにするものです。効果として、身近な市民センター・公民館に出かけたついでに返却できるので、市民の利便・受益が増すというもので、いずれも実施は10月1日(日)からを予定しております。

(3)有料宅配便の実施については、本を借りたいけれども図書館へ行くことのできない市民のために有料配達便のサービスを開始するものです。有料配達便のサービスを希望する利用者は、片道350円の料金を宅配業者に支払う、あるいは利用者が図書館に返す場合も350円となります。なお、来館が困難な高齢者、障害者には既に宅配ボランティアを活用した無料の宅配サービスを継続し、従来の宅配サービスと区別するため、「有料宅配便」という名称でいきたいと思います。これは病気やけがで自宅療養中の人、赤ちゃんのいるお母さん、忙しいビジネスマンなど、図書館利用が困難な利用層に図書館サービスを浸透するというものです。これも10月1日(日)からを予定しております。以上です。

川島委員長

事務局の説明が終わりました。ただいまの3件についてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

平岡委員

本の受取、返却が身近なところであることを市民も要望していたので良かったと思います。実際に身近なところで受取には、予約をしてから何日ぐらいでしょうか。

武生涯学習部参事

資料がどのくらいで用意できるかということは、貸出中か在庫か、あるいは藤沢市の図書館で所蔵していない場合は、他の図書館から借りるということもありますので、用意ができる時間は様々でございます。図書室に取り置く期間は、昨年4館については必ず日曜日を挟んで10日間にしております。ただ、図書室へ運ぶ時間、返す時間があります。例えば総合図書館から市民図書室へ貸出す、その貸出の往復の時間を含め前後2日ずつみて

おります。貸出の期間は同じように2週間としております。

数野委員 4 市民図書館の130万冊の蔵書は、月平均どのくらい貸出ているのですか。

武生涯学習部参事 4 市民図書館、市民図書室等すべての施設の貸出件数はこのところ少し下がりました、年間約390万件です。もちろんこの中には図書資料と視聴覚資料、雑誌等を含めての390万件でございます。その中で一番多いのが総合図書館の約105万冊から110万冊、その次が湘南大庭図書館の約95万冊から100万冊と総合図書館にかなり肉薄しており、その次が辻堂市民図書館です。辻堂の場合は、茅ヶ崎の市民も相当借りるということもあり約70万冊。それから南図書館で、ここが一番利便はいいのですが、狭いとか階段が多いとか、駐車場が有料ということもありまして、大体50万冊から55万冊です。それから11の市民図書室が約70万冊です。これを月で割りますと、ほぼそういった数字になるということです。

数野委員 そうすると今までの市民図書館は、年間のうち5～6分の1ぐらいしか借りていないわけですが、今後は4館の蔵書がかなり借りやすくなったということで、大変市民にとってありがたいことだと思います。

開沼委員 昨年7月からインターネットの予約サービスが始まってから約1年が経ったわけですが、インターネットによる予約サービスの状況について、そこからさらに展開する形で市民図書室までということだと思いますので、その辺りの経緯をお聞かせいただきたいと思います。

武生涯学習部参事 予約が4館では前年対比で約2倍と非常に増えております。例えば総合図書館では約7万件が約14万件と増えております。ただ貸出は、4館についてはほとんど変わりがないということです。予約というのは手軽に自分の読みたい本、貸出中のものであってもなるべく早く自分のところに届くということもありますし、図書館で持っていない資料も借りられるし、自宅にいながらにして本を借りたいという方々がたくさんいらっしゃるということかと思います。どのような資料が増えているかといいますと、資料費が厳しいということがありますが、新刊資料に相当集中しています。小説に限らないで、実用書も含めて新刊資料が増えているという実態がございます。

開沼委員 利用者も非常に増えてきているということですが、インターネットによって利用者の世代に変化はあるのでしょうか。

武生涯学習部参事 世代の細かいところまではわかりませんが、成人と児童を比較しますと、予約に関しては圧倒的に成人が多いということは言えます。それから年齢はともかくとして、市民の階層からいって多いのは従来からの主婦層と思います。厳密なデータではありませんが、ビジネスマン、お勤めの方々が増えているのではないかという実感は持っております。

開沼委員 インターネット予約と宅配サービスの連携が進んでまいりますと、これ

までなかなか借りに行けなかった方たちが増えてくるのではないかと思いますので、図書館がさらに活発に利用されることを期待したいと思います。

それから有料宅配便では誰でも借りられるのか、この場合の記録の管理はどのような形で行われるのか。例えば図書館へはカードを持って行って入力をして借りるわけですが、今度は窓口を通さないドア・ツウ・ドアという形になるわけですので、その辺りも教えていただきたいと思います。

武生涯学習部参事 有料宅配便は、どなたでも対応いたします。1つはインターネット予約表の中に「どういう形で届けますか」、「どこに届けますか」というものがあります。今回は4館だけだったものが市民図書室でも借りられますという欄と同じように、「自宅に送ってください」という欄が1つ増えます。それから、紙でお願いしてもかまいませんし、電話、ファックスでも受け付けます。それから予約サービスに限らず、データは基本的には個人情報ですから、その行為が終わればすべて消去されます。予約は紙およびインターネットでできますが、それは提供のための連絡をして本を納める。その時点ですべて消すということになっております。

開沼委員 便利になってくると本を借りたくなるけれども、今度は返却の問題が出てくる。例えば、借りていっているはずだけれどもといったデータがどういう形で残るのか、お聞かせ願えればと思います。

武生涯学習部参事 貸出に関しては、その方が何をいつ借りられたのか、どういう予約をされているのかというデータは、すべてコンピュータに残っております。返却されたら、もちろん件数の累計は記録に残っておりますが、誰が何をいつ何冊借りたというのはすべて消去いたします。トラブルとして返した、返してないということがありますが、これは両方の間違いの場合があり、図書館に本を持ってこられてバーコードのなぞりをしなければいけないところをなぞり忘れ、なぞりミスということも何千件に1回ぐらいはあります。それからご本人は返したけれども、記録に残っているというケースもあります。この場合は、利用者から私は絶対返したと言われれば、信じざるを得ないということで処理しております。

いずれにしても最初にカードをつくることは必須で、住所、名前、電話番号といった登録は貸出も予約もすべて必須でございます。配達は、カードを持ってこなくても予約でお願いしますと言いますと、カードは要りません。カードの情報はこちらで既にわかっておりますので、それに基づいて宅配便にお願いするという事です。

開沼委員 いろいろと図書館でもお考えになってくださっていると思うのですが、私は職業柄、本に対する思いが強いのですが、確かにこうして貸出が増えていくことは非常にいいことだと思う。ただ、借りた本の返却で今後問題に

なってくるのではないかと思ったりするのは、これは藤沢だからということではなくて、最近の本に対するモラルの低下とか、不明の本が年間の予算からもかなり多いというお話も伺います。そういうときに図書館に行かずに借りられるという便利さの中で、その方が借りられたデータがどのように残るのかというのがないと、今度返却してほしいといったときに、借りている、借りていないということにもなりかねませんし、図書館の方たちの手間も多くなると思うので、その辺りはどういうふうになっているのか、教えていただきたいと思います。

武生涯学習部参事 有料配達便でやる場合は、例えばインターネットで「自宅に送ってください」といったときに、その情報が入ります。「私はこの本とこの本を借りたいので予約をしたい」といったときに、その本の準備ができました。そうすると、今までは取りにこられていたのですが、今度は郵送するといった場合、「何冊をあなたにお貸しします」というレシートを入れて、着払いで送ります。返却の場合は直接持ってこられる方もおりますし、また郵送の場合もありますけれども、データは同じように直接の場合も郵送の場合も全部コンピュータに記録として保存されます。それから、どなたがいつ予約されたかについては、貸出期間が過ぎますと消去しますが、返却するまでは残っておりますので、一般の貸出とそれほど変わらないのできるのではないかと考えております。

數野委員 インターネット予約を始めてから予約の件数が大変多くなったということはメリットですが、デメリットとして図書館に閲覧に来た方が、その本が貸出されている場合に見られないということも起こり得ると思う。雑誌などは何冊か用意しているのしょうけれども、専門書や特殊な本について原則何冊とか、現状どうなっていますか。というのはメリットも多いけれども、デメリットについても先に検証しておかなければいけないのではないかと思います。

武生涯学習部参事 確かに本の貸出が増えれば増えるほど、在庫がなくなってしまいます。それは図書館の運命でもあるわけですが、複本の問題、何冊持っているということは原則1冊です。ただし、超ベストセラーは何十人、何百人と利用が殺到しますので、1～2冊しか蔵書しないと2年も3年も待たせることになりますので、予約が50人ぐらいになったらもう1冊買いましょとか、これは厳密に決めているわけではありませんが、利用が集中するような本は複本を2冊あるいは3冊買い増すということはあります。

もう1つは、コンピュータシステムでやっておりますので、総合館には1冊しかないけれども、南館にもう1冊ありますとか、大庭と辻堂にはありませんとか、分担替えをしながら、また専門的な資料については総合図書館

だけが1冊持っていて、他の3館は利用が少ないので、いざというときは総合図書館で借りてもらおうとか、内容によって、あるいは需要傾向によって4館の役割分担ということも行いながら、予算の範囲でやっております。

数野委員

確かに予算がない中でご苦労されているのはわかるのですが、ベストセラーなどは1冊にして、自分で買ってもらえれば、そんなに買う必要はないと思う。それよりも、専門書でわざわざ足を運んで閲覧に見えたのに、無駄足になったというようなことをなくす方がいいのではないか。その対策の1つとして、「この図書は貸出中です」というインターネット上の表示はできているのですか。

武生涯学習部参事

貸出中か在庫か、さらに予約が入っているとかはわかるようになっております。蔵書数についてはいろいろな議論があります。

数野委員

みんなの議論を全部聞いていたらまとまらないわけですから、「ベストセラーは個人で買っていただくということを原則にしています」ということをうたった方が文句も出ないのではないか。

川島委員長

数野委員の意見も参考に検討していただければと思います。

開沼委員

これからは市民図書室の仕事が大変になっていくと思う。今も非常勤職員がお話し会を開いたり、ボランティアの方たちがいろいろ動いてくださったりしているけれども、現状の体制でこのサービスを行っていくということですか。

武生涯学習部参事

現状の体制で頑張っってやっていくということでもあります。これは市民図書室に限らず、総合図書館4館のシステムを担当するところ、予約をするところも現状の体制で頑張ることしかありません。

開沼委員

本は皆さんが利用して初めて生きるものだと思います。ベストセラーのものから藤沢市の市民図書館ならではの貴重なものもありますので、管理をしっかりといただきながら、市民にサービスを拡大していただくという両方のバランスをとって、ぜひお願いしたいと思います。

武生涯学習部参事

資料管理、サービス、情報提供、蔵書構成、情報発信の質の問題といろいろな課題を抱えておりますけれども、多くのさまざまな方々にいいサービスをするように、今後も頑張りたいと思います。

小野委員

今までの市民図書館のノウハウを駆使しながら、無理のない形のシステムをつくっていただければと思います。貸出が増えれば不明本も増えていくだろうと思いますが、さまざまな工夫を凝らしながら続けていただきたいと思います。

川島委員長

ほかにありませんか。

ないようですので、3件について了承することといたします。

×××

川島委員長 次に、(4)「第20回ビーチバレージャパン&テレビ東京マーメイドカップ」開催結果について、(5)「ビーチバレージャパン20回記念事業」開催結果について、(6)「オープンウォータースイミング2006」開催結果について、3件を一括して事務局の説明をお願いします。

熊谷生涯学習部参事 「第20回ビーチバレージャパン&テレビ東京マーメイドカップ」は、8月17日(木)から20日(日)の4日間にわたりまして、鵜沼海岸常設ビーチバレーコートで開催いたしました。ビーチバレージャパンは男子の大会ですが、都道府県代表が48チーム、ランキング上位の推薦チームが12チームの計60チームが出場しました。優勝が白鳥・朝日組、準優勝が西村・渡辺組、3位が木村・鈴木組、森川・山本組、いずれも国内のトップクラスのチームで、オリンピックあるいは世界選手権へ日本代表として出場するメンバーだそうです。

またマーメイドカップについては、4組の8名は女子のトップチームで、特に3位になりました浅尾・西堀組は、スポーツ振興財団の広報にも取り上げておりますが、20歳という若い選手で、小泉・田中組、楠原・佐伯組が年齢も上になってきている中で、次代を担う女子ビーチバレーボール界を背負って立つ選手ということで、日本協会でも大分テコ入れをしているようでございます。優勝は小泉・田中組で、その模様はテレビ東京で深夜の3時(27時)に既に放映されました。天候は、17日の夕方に雷雨があつて一時中断しましたが、観客は1万2,000人と常設コートは盛り上がりまして実施いたしました。生涯学習部の各課から、鵜沼海岸駅で10人の職員にご協力いただいております。

次に「ビーチバレージャパン20回記念事業」は、20回記念ということでビーチバレー発祥の地記念碑を作製いたしました。報告書がバレーボール協会から上がってきましたので、後ほどお目通しいただければと思います。今回初めて市内の小学生、中学生と高校生は茅ヶ崎の高校生も入っておりますけれども、小・中に特に力を入れた形でビーチバレージャパンの日程に組み込みで開催いたしました。「ビーチ」という英語をかたどったモニュメントの除幕式を18日に行っております。

小・中・高の大会については、小学生が6人制で24チーム、中学生は4人制で男子が18チーム、女子が12チーム、高校生は正規ルールの2人制で男子が21チーム、女子が4チームという状況でした。特に、中学生の部についてはメインコートで決勝戦を行い、女子の優勝チームはテレビ東京の女子アナチームとエキジビション・マッチを行いました。残念ながら負けてしまいましたけれども、盛り上がった大会でした。教育委員会といたしましては、この中学生の部を来年も継続していきたいということで、日本協会と

協議を進めております。高校生のバレーボールはジュニアというクラスになりますが、その全国大会が愛媛と大阪で開催されているそうです。中学生の全国大会はまだ行われていないということで、ぜひこの鶴沼海岸で中学生の全国大会開催に向けてつながるような事業を継続していきたいと、調整しております。

次に、「湘南オープンウォータースイミング 2006」は、8月12日（土）～13日（日）に開催いたしました。藤沢市は実行委員会に参画して、主催団体に名前を連ねているわけですが、競技種目はフィンスイミングと江の島スイムツアー、オープンウォータースイミングは2.5キロ、6キロ、10キロと3つのコースで行われました。参加者は合計1,757名で、特に事故もなく無事に終了いたしました。閉会式は江の島水族館で盛大に行われております。3つの事業の報告は以上です。

川島委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの3件についてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

開沼委員 夏の暑い大会に事故もなく終了したということは、スタッフの皆様の努力の賜物であると思います。湘南オープンウォータースイミングは参加者も多く、皆さん楽しんで参加しているようですけれども、どのようなエリアからいらしているのか。2.5キロ、6キロ、10キロとあるけれども、今年度の特徴などを教えていただければと思います。

熊谷生涯学習部参事 残念ながら私はビーチバレーに詰めておまして、オープンウォータースイミングは見ていないのですが、閉会式の様子を見ておきますと親子連れというか、子どもさんが結構参加されているのが目立ちました。それから主催者が言われていたのは、日本を代表して北京オリンピックに出場できる方が含まれているとか、遠泳で高齢の方（75歳）が優勝されていて愛好者の年齢階層は幅が広いと感じました。エリア的には関東近県が多いかと思うのですが、遠方の方もおられたように伺っています。

小野委員 ジェイコム「パステルタイム」の中で、小学生、中学生、高校生がビーチバレーをやっている様子が昨夜放映されていましたが、見たばかりですので、まだ放映していると思います。小学生、中学生はインドアの経験はあっても砂浜でやるのは初めてで、ボールを取りにいかけても足がもつれてしまうということがありましたが、最後の方はとにかく飛び込めるということで、かなりボールに向かって行って「とても面白い」と感想を言っていました。藤沢市としても、中学生の大会は続けたいという思いでおります。子どもたちにとっては、大変いい経験になったなという大会でした。

平岡委員 ビーチバレーというのはチームの人数も少ないし、小学校、中学校でやるというものでもないのです、個人的に練習をして力をつけて大会に出るという

感じですか。

熊谷生涯学習部参事 バレーボールもそうですけれども、小学生の場合にはカリキュラムの中にも入っていないと思うのです。藤沢市の場合はバレーボール協会という体育関係団体がありまして、その中に小学生を対象にした組織があります。スポーツ少年団に入っている子どもたちが大多数を占めますが、6人制の屋内のバレーボールはかなり活発にやっている方です。中学生の部については完全に部活動が主で、砂浜でのバレーボールはほとんど未経験の子どもたちばかりだと思います。今回、そういう子どもたちを対象に試みとして大会を実施いたしましたのは、総務省が補助事業としてスポーツの拠点づくりということで事業展開しておりまして、それに藤沢市も名乗りをあげたいというような意図もございます。全国大会につながるものとして、藤沢らしさをアピールできるのは、やはりビーチバレーが一番いいのではないかとということで、今回、試みとして実施したわけでございます。小学生では砂の上では6人制でも難しいかなと思います。中学生は4人制ですので、かなりバレーボールになっていました。見ていても大変迫力のあるプレーも出てきていますし、子どもたちも楽しんでやっているところが見えましたので、これを取り上げていきたいと思っています。

小野委員 鶴沼海岸に常設のバレーコートができております。申込みをすればボールを貸してくれてという形で、かなり遠くから海へ遊びに来て、そこでビーチバレーを楽しんでいる人たちもたくさんいます。大会の開催中にも何人かに「バレーコートは空いていないのですか」と聞かれました。とにかく「大会を行っているので、決勝くらいになればコートも空いてきますよ」という話をしたのですけれども、そういう形でビーチバレーがどんどん広がっているなという実感はありました。ですから藤沢の小学生、中学生もこれを機会に、常設のバレーコートがあるわけですから、経験をするとさらに広がるのではないかという気がしています。

川島委員長 非常に積極的な大会になりつつあって、将来も期待できそうなスポーツで、私も40年ぐらい前にアメリカに行っていたときに、サンタモニカビーチで当たり前のようにやっていました。また湘南海岸へ行ってもソフトバレーボールは結構発達していますし、それが全国に向けて発信する素晴らしい大会になる可能性がありますので、ぜひ積極的に、マラソンと同じように推し進めていただきたいと思っています。

それから、小学校にはバレーボールのカリキュラムはないようですが、部活動もないのですか。少年団にはあるのですか。なかなか好評でございましたので、よろしく願いいたします。

ほかありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長

以上で本日予定いたしました審議案件は、すべて終了いたしました。

次回の定例会の期日を決めたいと思います。10月13日（金）午後2時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

川島委員長

それでは、次回は10月13日（金）午後2時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

本日は暑い中、ご苦労さまでございました。

午後2時52分 閉会

この会議の結果を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員